

報 館 おかた

ここにこあいさつ
なかよし おかた



祝 町内公民館文化祭

10月29日(日)に、各町内公民館で
盛大に文化祭が行われました。

東区 (取材 村越)

大人のネクタイを使ったり
メイク作品の細やかな技術に
深く感銘を受け、子供達の作
品には発想の豊かさに驚くば
かり。その中で思わず「わー
可愛い」と見入ったのが、介
護施設「となりの縁側」の皆
さんによるお花畑。色とりど
りの貼り
絵でいつ
ぱいの花
や動物、
とても心
温まる作
品でし
た。



子どもや大人の力作がずらり



伊深 (取材 松田)

岩ひばの盆栽や鹿の角、繊
細で色鮮やかな花風車(風力
でまわる紙の芸術作品)は、
今までにない展示品で、会場
を沸かせました。何百匹の大
すずめ蜂の焼酎漬けにはびっ



初登場の展示品の数々



くり！
さて効能
は…。

塩倉 (取材 大澤)

皆さんの協力で沢山展示さ
れていました。大きな梨と
冬瓜の目方当てクイズが有
り、一番近い人がその品物を
もらえるという楽しいイベン
トや、それぞれ用途に合った
ロープの



ロープの実演風景

結び方
を、元消
防士の百
瀬さんが
講習して
くれ参考
になりました。

松岡 (取材 田中)

午前8時から午後3時まで、
毎年恒例の文化芸術の交流があ
り、写真、絵画、書、盆栽、生
け花、子供たちの自由研究など、
42名の作品を展示しました。
お茶席では豚汁、おにぎり、
お茶が出さ



作品と豚汁で心もお腹もいっぱい

岡田町 (取材 伊藤)

台風の接近で天候が悪い中
多くの方にご来場いただきま
した。色鮮やかな菊や、瞬間
をとらえた写真、小・中学生
の力作などが展示されまし
た。多く
の展示品
で賑やか
に行われ
ました。



多数の展示物で賑わいました

神沢 (取材 小林)

みごとな菊が玄関でお出迎
え。子どもから大人まで力作
ぞろい。りんご3兄弟(秋映
シナノゴールド・シナノス
イート)をはじめ、20種類以
上のりん



りんごに祝文化祭の文字が入っています

ごも展示
されました。
そば会
による手
打ちそば
も大好評
でした。

山浦 (取材 宇留賀)

あいにくの天候でしたが、
子どもから大人までの力作が
展示され、多くの皆さんがお
越しになりました。
今年は、公民館前で羊が2
頭皆さんのお出迎えをしてい
ました。



婦人部製作の「創作生け花」

岡田ほっとニュース

神沢の祭り

● 神沢 ●

神沢地区は葡萄や桃、特に林檎の果樹園が多く、米作りも盛んな地域です。

毎年各常会持ち回りで岡田神社の宮司を祭主にして祭りを行っています。今年度は私の属する常会が当番常会ということもあり、地区の文化財や、お祭りを紹介します。

4月には神沢池下で秋葉様の祭り(火伏せの神として信仰される)があり、秋葉大権現、



馬頭観音群

御嶽座王大権現、芭蕉の句碑など地区内の石造物も集合安置してあります。また、神沢池湖畔には馬頭観音群があります。

神沢の語源は神沢集落を流れる小川の名称を神沢川と呼ぶことに由来しており、8月には神沢川上流にてお不動様の祭り(明治期に水に恵まれるとの願いで祀られる)があります。祭りの前日には、お不動様へ通じる道の除草をし、足場の悪い道は土を盛り、木を渡すなどの作業を行いました。

9月下旬から10月上旬には塩倉池の東の小高い塚にある津島社で、神沢等の三地区で津島様の祭り(疫病流しのご利益がある)を行っています。

祭主の小林宮司は「私達の町会に鎮座している小さな社は崇敬者の人々にとつて大切な心のより処です。」と語り、ながく祭り事が続くことを望まれていました。

地域の祭りを知る貴重な機会となりました。また、祭りの地が自然と共存している印象をうけ、自然に恵まれた地域であることを改めて感じました。

(取材 小林)

30歳代になり、東京から地元岡田に戻り、当時から仲間の影響で、人気が高まりつつあった乗鞍マウンテンサイクリングと母池サイクルの自転車ヒルクライム大会に参加し始めました。

約26年経過。年齢が上がるにつれ、持病となったホルモン低下による糖尿

病との関わり合いで、毎月の通院時のA1c値8前後(正常値4~6位) 低減管理、維持が目標になりました。

夏場は、大会への参加練習で低めに推移しますが、冬

場は運動不足の影響で高めになります。

毎年、この季節の大会練習を繰り返す事で、年齢が上がっても大会の完走時間は大きく変わらなっています。元々速さは求めず、タイムに拘りはありません

生活雑記 趣味の継続と体調の話 伊深 草間 敬治

が、決めた練習ルートのタイム変化で自身の体調確認をしています。実感するのは歳だからと、身体を甘やかして運動不足になると体の各パーツの不調を生んでしまう様です。運動に

は、多少のストレス(例えば普通に行くだけではなく速歩も考慮)を加えて日々過ごすこと、脚力だけでなく肺活量と参戦への気持ちの維持も重要です。

今年の乗鞍での大会では、惜しくも完走は出来なかつたとのことですが、参加者の最高齢は、90歳の方でした。今年、乗鞍の大会にツールド美ヶ原を加えた「松本ヒルクライムシリーズ」に挑戦しました。これからも、自身の毎年3大会への参加、続けられる限り走りたいと思っています。

親子ウォークラリー



雨上がりの秋空の下「子ども親子なぞときウォーク」が開催され、子供20名、保護者7名で6チームを作り、チーム対抗ウォークラリーに挑戦しました。

このイベントは、平成25年度から行われており、子ども達や岡田に越してきた方々に、岡田の名所・旧跡を楽しく巡ってもらう中で地域を知ってもらいたいと、今回が5回目の開催となりました。

スタートから、グラウンドゴルフ・ホールインワンゲームで

悪戦苦闘。クリアしたチームから順次出発。コースを巡り3択問題を解いていきます。色々な場所、親子が座り込み協力し合つて問題を解く微笑ましい姿が見られました。途中、ヤマト牧場では棒に刺したりんごを馬に食べさせていました。

ゴールの後は、公民館にもどり、美味しい『豚汁うどん』を食べた後、いよいよみんなで答え合わせ。3位までが決まる大盛り上がりの楽しいウォークラリーでした。

子どもたちからは「楽しかった。」「疲れた。」などの声。保護者からは「親子で地域に触れられてよかった。」と喜びの声

がありました。三浦育成会会長は「皆さんの協力があつて無事故で、無事終える事ができました。親子で自然の中を歩き、地域に触れていくこのイベントをこれからも続けていきたい。」と語っていました。

(取材 日比)



地域の方から歴史を学ぶ